

(社)日本原子力学会 第33回 標準委員会 (SC) 議事録

1. 日時 2008年9月19日 13:30～17:40
 2. 場所 原子力安全基盤機構 別館13階 AB会議室
 3. 出席者 (敬称略)
 - (出席委員) 宮野 (委員長)、青柳、石島、岡本 (孝)、岡本 (太)、神田、喜多尾、阪口、重政、荘野、常松、柴田、辻、百々、西岡、西脇、林、原、古川、山根 (20名)
 - (代理出席委員) 梶本 (平野代理)、成宮 (千種代理)、森下 (柳沢代理) (3名)
 - (欠席委員) 岩田、小原、三枝、田中、松本、吉田 (6名)
 - (常時参加者) 板垣 (1名)
 - (欠席常時参加者) 菊池、中村、宮川 (3名)
 - (傍聴者) 藤田、柴田 (PLM分科会)、川上、広瀬 (輸送容器分科会)、吉原 (LLW埋設後管理分科会)、宮本 (四国電力)、田中、東 (日本原燃) (8名)
 - (事務局) 岡村、村上、谷井 (3名)
 4. 配付資料
- 配布資料：
- SC33-1 第32回標準委員会議事録 (案)
 - SC33-2 人事について [専門部会] (案)
 - SC33-3 原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定について (案) (第33回標準委員会への報告)
 - SC33-4-1 「低レベル放射性廃棄物輸送容器的安全設計及び検査基準」案 標準委員会書面投票時等コメント対応表
 - SC33-4-2 「低レベル放射性廃棄物輸送容器的安全設計及び検査基準」(案)
 - SC33-5-1 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準」案 標準委員会書面投票時等コメント対応表
 - SC33-5-2 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準」(案)
 - SC33-6 新専門部会委員構成 (案)
 - SC33-7-1 「低レベル放射性廃棄物の埋設後管理方法 (仮称) [ピット処分]」について
 - SC33-7-2 「低レベル放射性廃棄物の埋設後管理方法 (仮称) [ピット処分]」標準案 (本体・解説対比記載版+別冊附属書)
 - SC33-8-1 発電炉専門部会の活動状況
 - SC33-8-2 研究炉専門部会の活動状況

- SC33-8-3 原子燃料サイクル専門部会の活動状況
- SC33-9 ISO/TC85 (原子力) オーランド会議報告

参考資料

- SC33-参考1 標準委員会委員任期 一覧表
- SC33-参考2 標準委員会及び各専門部会開催スケジュール(案)

5. 議事

(1) 出席者、資料の確認

事務局より、開始時点で委員 29 名中代理を含めて 22 名の委員が出席しており、決議に必要な委員数 (20 名) を満足している旨、報告された。

(2) 前回議事録の確認

宮野委員長より、前回議事録について紹介し、承認された。(SC33-1)

(3) 人事について (SC33-2)

a. 標準委員会

- ①新任：なし
- ②再任：なし。
- ③退任：なし

b. 原子燃料サイクル専門部会

- ①新任：近藤 敏和氏 (国土交通省 海事局) が承認された。
- ②再任：荒木委員の再任が承認された。
- ③退任：濱田委員の退任が報告された。

c. 発電炉専門部会

- ①新任：なし
- ②再任：なし
- ③退任：なし

(4) 「原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定 (案)」委員会書面投票等の意見への対応に関する審議 (SC33-3)

P L M分科会の藤田幹事より、「原子力発電所の高経年化対策実施基準の改定 (案)」委員会書面投票等で受けた意見等に対する回答並びに標準案の修正内容について説明が行われた。審議の結果、本標準を公衆審査にかけることが承認された。

主な議論：

- ・ 今回反映しきれなかった課題等について解説に書いてはどうか。
 - 議事録に残すこととしたい。
 - リストにしてはどうか。
 - どのように次回改定に引き継ぐが事務局で検討すること。
- ・ 2章の用語の定義で劣化と経年劣化事象の違いは。
 - 劣化と劣化事象については、整理するようコメントしたが、J E A Cでも定義されているので、今回は容認した。
 - 今後の改定では、J E A Cを含めて検討すること。
- ・ p.20の高サイクル熱疲労の部分で、C.4.3.1.3 過渡回数とあるが、高サイクル熱疲労を過渡回数で評価するのは技術的に違和感がある。今後検討していただきたい。
 - 根拠を確認する。
- ・ この標準は、毎年見直す必要があると思われる。見直しをタイムリーに行っていく必要があり、手続きの短縮等について検討して欲しい。
 - 事務局等で検討して次回提案する。分科会でも考えて欲しい。

- (5) 「低レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準（案）」委員会書面投票の意見への対応に関する審議（SC33-4-1、SC33-4-2）、「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準（案）」標準委員会書面投票等の意見に対する審議（SC33-5-1、SC33-5-2）

輸送容器分科会川上委員より、「低レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準（案）」委員会書面投票等で受けた意見等に対する回答並びに標準案の修正内容について説明が行われた。さらに、広瀬委員より「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物・低レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準（案）」標準委員会書面投票等で受けた意見等に対する回答並びに標準案の修正内容について説明が行われた。審議の結果、両標準を公衆審査にかけることが承認された。

主な議論：

- ・ 輸送と発送はどこかに定義されているか。
 - 定義はない。発送は収納物が入った状態。輸送も基本的には、収納物が入った状態であるが、輸送前の検査となった場合には収納物が無い状態となる。
 - 検討していただきたい。

- (6) 新専門部会委員構成（案）（SC33-6）

事務局より、新たに設置が決まっているシステム安全、リスク、基盤・応用技術

の3専門部会について、委員候補の説明が行われた。

決議の結果、システム安全、リスク専門部会については、本日提案の委員構成にて発足が決議された。基盤・応用技術に関しては、専門部会の発足は承認されたが、委員構成については改めてメールにて決議することとなった。

主な議論：

- ・ パラメータ分科会の主査がないのはなぜか。
 - 事務局が、転記する際に落とした物。
 - 主査として本来委員になるべき。追加することで構わない。
- ・ 基盤応用技術専門部会には、文科省の委員を追加すべき。
 - 専門部会で追加していただきたい。
 - 基盤・応用技術については、再度調整して提案する。

(7) 【中間報告】「低レベル放射性廃棄物の埋設後管理方法（仮称）[ピット処分]」について（SC33-7-1, 2）

L L W埋設後管理分科会吉原幹事より、「低レベル放射性廃棄物の埋設後管理方法（仮称）[ピット処分]」の検討経緯、概要の説明が行われ、意見等が有れば事務局まで連絡することとなった。

主な議論：

- ・ 本標準案は埋設後管理の標準だが、施設の設計基準はあるのか。
 - 設計基準は無いが、施設の施工、検査については別に標準化の検討中。
- ・ 経年劣化メカニズムまとめ表について、継続的に改定を行うことを標準に記載する必要はないか段階管理は、本標準の最も重要な部分であり解説ではなく本文に記載すべきではないか。
- ・ 段階移行について、何年という期間について書いているところが無い。何か書くべき。また、JEAC4111を引用しているが、これは発電所の規格でありそのままではなく使い方を記載すべき。
- ・ 附属書Eが重要なのがうまく読み取れない。本文に入れるべきではないか。
- ・ スタイルが合っていない部分がある。例えば引用規格。

(8) 専門部会の活動状況（SC33-8-1～3）

事務局より各専門部会の活動状況について報告された。

(9) ISO/TC85（原子力）オーランド会議報告（SC33-9）

喜多尾委員より、ISO/TC85の概要並びにオーランドで行われた総会の状況が紹介された。

6. 次回以降の予定（SC32-参考2）

次回委員会は、12月4日（木）に行われることとなった。

以 上